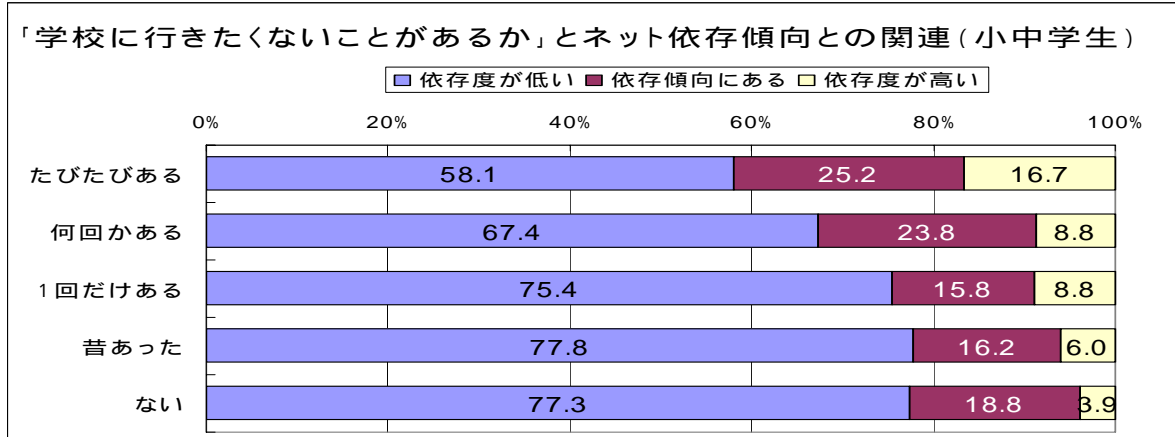
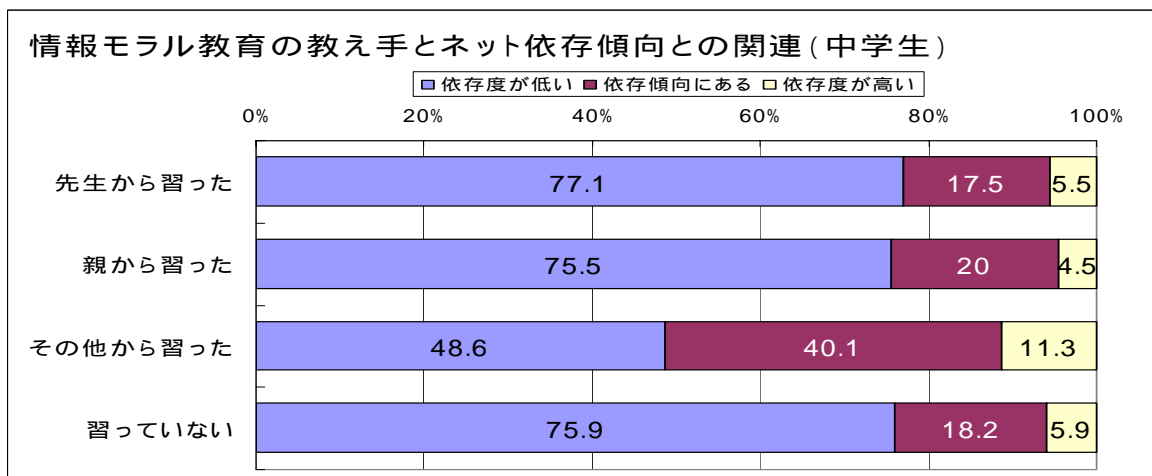
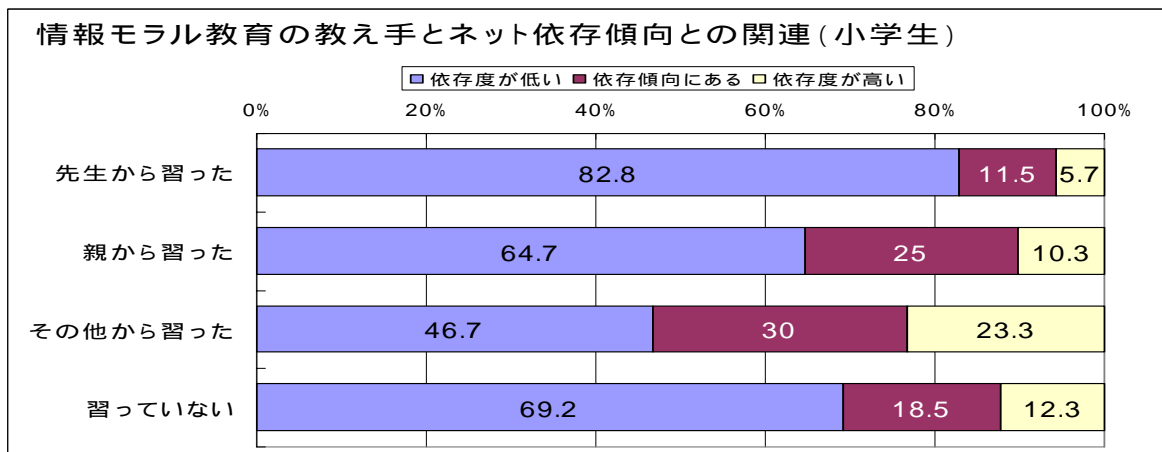


インターネット依存傾向と情報モラル

学校に行きたくないと思うことが多い小中学生ほど、「インターネット依存」度が高い傾向があります。



情報モラル教育を学校の先生から受けた小中学生は、「インターネット依存」度が低い傾向にあります。「インターネット依存」の防止には、学校の先生による教育がより有効です。しかしながら、それでも、「依存傾向にある」あるいは「依存度が高い」小中学生もいるので、指導者は、情報モラルについて正しく理解し、継続的に指導していくことが求められます。



【情報化が子どもに与える影響（ネット使用傾向を中心として）に関する調査報告書】

学校におけるIT活用等の推進に係る事業（情報教育の改善に資する調査研究）

（平成14年度文部科学省委託事業）より